

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
プログラミング基礎	笠 浩一朗	講義	2		4	3	1,3
授業概要 授業目的	現在、情報分野に携わる人材だけでなく、あらゆる分野を専門とする人にとって、プログラミングの技能を身につけることは必要になってきている。本講義では、Python を用いて、変数、関数、制御文（条件分岐、繰り返し）など、プログラミングの基本的な概念、記述方法を解説するとともに、プログラミングの演習を行い、実践的にも学びます。Python の基礎を修得することを本講義の目的とする。						
到達目標	基本的な問題が与えられたときに、それを解くアルゴリズムを考え、実際にプログラミングできることを到達目標とする。						
回	学習内容						
1	プログラミングとは、変数とデータ型						
2	コレクション						
3	条件分岐						
4	繰り返し						
5	関数						
6	オブジェクト						
7	モジュール						
8	中間テスト						
9	機械学習とは						
10	機械学習によるデータ分析						
11	機械学習を用いた分類						
12	機械学習を用いた回帰						
13	期末課題のテーマ決め						
14	期末課題の分析の実施						
15	期末課題の分析結果の報告						
予習内容 復習内容	予習のために教科書を読んでおくこと。 授業で紹介した内容を、実際にプログラミングして復習すること。						
教科書	スッキリわかる Python 入門、インプレス、（ISBN:9784295006329）						
成績評価	中間テスト（40%）、期末課題（60%）						
実務経験	なし						
その他 特記事項	予習、復習のために Windows または Mac の PC を所有していることが望ましい。 統計学についての基礎知識を取得済みであることが望ましい。						